

富秋中学校区等まちづくり検討会議（令和２年度第１回） 議事概要

１．日 時：令和２年６月２９日（月）１９：００～２０：００

２．場所：和泉市 人権文化センター １Ｆ 大会議室

３．出席者：委員 ２４名
和泉市職員 ２８名

４．議事次第

- １．委員紹介
- ２．市職員紹介
- ３．役員の選任について
- ４．これまでの経過について
- ５．和泉市富秋中学校区等まちづくり構想事業化に向けた今後の進め方について
- ６．今後の取り組みについて
- ７．その他

５．議事概要

■開会

向井会長 挨拶

■委員紹介 新規に参加する委員の承認及び参加委員の自己紹介

■市職員紹介 八木市長公室長より挨拶の後、出席職員自己紹介

■役員の選任について

- ・副会長に桃田千代彦氏が指名され、承認された。
- ・現役員が任期満了となっているが、改めて全役員の再任が提案され、承認された。

■これまでの経過について

富秋中学校区まちづくり検討会議のこれまでの経過等を説明（森事務局長）

このまちづくり検討会議は、あくまでも市が作ったものではなく、住民主体で設立されたもので、住民だけでは取り組みをスムーズに進めていくのが難しいことから、側面から行政にサポートしていただくために市役所にも参加いただいているということを共通認識として持っていただきたい。

資料「まちづくり構想（地域案）概要版」を用い、まちづくり構想（地域案）の内容を説明（森事務局長）

■和泉市富秋中学校区等まちづくり構想事業化に向けた今後の進め方について

資料「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想概要版」「和泉市富秋中学校区等まちづくり構想事業化民間活力導入可能性調査等業務について」を用い市の今後の取り組みについて説明

○意見交換

※以下、特記無き場合委員の発言

- ・和泉市富秋中学校区等まちづくり構想事業化民間活力導入可能性調査等業務について、①から④の施設の基本計画を作成していこうということだと思うが、地域案に書かれている賑わいづくりや高齢者や障がい者が安全・安心に暮らせるまち、拠点作りについてはこれに含まれているのか。

⇒この業務については、基本的には公共施設を再編していくというプロセスにおける基本計画の策定ということであるが、当然ソフトとハードを併せて議論していくべき事項もあるので、そういったものについては地域の皆様の意見をいただきながら進めたい。

また、この業務の仕様書の中で、エリアマネジメントの視点も踏まえながら、公共施設の再編や跡地活用を検討していくことについての記載をしています。

ただ、まちづくり構想地域案には、市の公共施設の再編以外にも、地域独自で行って行くべき事項も多く記載されておりますので、皆様に議論を深めていただいて独自の取り組みを進めていただきたい。(和泉市)

- ・「富秋中学校区 ミライの学校を創るプロジェクト」について、まだ施設一体型の学校を作ることとが決まっていないので、多くの課題の解消に向けて取り組んでいこうということだと思うが、学校の現場の先生の参加がどのあたりになるのか教えてほしい。

⇒検討会議が発足した時点から学校の先生には情報共有を行っている。今後、先生方に参加していただく段階としては、設置が決定された後、この地域ではこういった教育が求められるのではないかとということやこういった資源があるから活かしていくべきだといった経験をもとに学校づくりに携わっていただきたいというイメージを持っているところです。(和泉市)

- ・公共施設の再編成については、建築後一定期間経過してくると市民にとって使い勝手の悪い施設となるのでニーズにあった形で再編していくということであるが、現実のまちづくりにおいてどのような課題があり、これを解決するためにまちづくり構想だと思う。まちづくりの基本は安全で、富秋中学校区全体におけるインフラの整備が大原則だと思う。生活していくうえで一番重要なインフラの整備（信太山駅前の整備、消防自動車が入っていける、大雨の中、避難所まで溝に落ちることのない避難経路）と我々が取り組んでいく構想が連動していくべきだと思うが、インフラの確立が見えてこない。

⇒パブリックコメントにおいても、駅前の再開発や道路の拡幅等について意見をいただいたが、インフラの整備について民間所有地の買収等、直ちに取られることではなく、時間がかかるものであると考えている。このまちづくり構想でお示しさせていただいているものは、あくまで現在市が所有している建物や土地をこの地域の中で有効に活用しまちづくりを行っていこうとするものであり、このまちづくりによりまちが魅力あるものになる中で、その効果が民間開発に波及していくものであると考えており、インフラを全て整備してから公共施設の整備というわけではなく、同時進行でインフラと公共施設の整備についてできるところから考えていくべきと認識しています。(和泉市)

■今後の進め方について

「富秋中学校区 ミライの学校を創るプロジェクト」へ検討会議からも代表者を出すことになったがそ

の人選について先日開催した役員会において会長からの推薦があり、下記のとおり代表者の候補を選出したが何か意見はあるか。

氏 名	所属・役職
竹中 正夫	富秋中学校学校協議員
奥野 茂寿	富秋中学校学校協議員
橋本 健次	池上わかばこども園 園長
森 尚樹	幸王子まちづくり協議会 事務局長
瀧 剛志	NPO法人ダッシュ 理事
亀谷 聖樹	和泉チャイルド幼稚園 事務局長

⇒異議なし 上記の委員を代表者として選出した。

■今後の日程について

7月11日に「富秋中学校区 ミライの学校を創るプロジェクト」の第一回が開催されるので、その内容により7月もしくは8月くらいに開催したいと考える。日程が決まり次第、連絡する。(森事務局長)

■その他

- ・小中一貫校ができるまで何もしないのではなく、出来ることから取り組もうということで、昨年、一昨年に、居場所づくりプロジェクトを実施した。今後も継続して取り組んでいかなければならないとメンバーは考えているが、勝手に進めていくのはどうかという意見もあるので、この場で検討会議として今後も続けていっても良いのかお諮りしたい。

また、まちづくり構想の支援をいただいていた市浦ハウジングさんがイベントをするための会議の運営支援を行っていただいた。次の民間活力導入可能性調査等業務においても同様にこの取り組みの支援を業務内容に入れてもらえないか。

⇒居場所づくりプロジェクトについて今後もこれまでどおり検討会議を中心にして進めていくということによろしいか。(森事務局長)

⇒異議なし

⇒イベントの支援については、皆さんの活動が将来にわたって継続して行えるように、2年間支援を行っていただいたと理解している。次の業務についても1年5ヶ月で終了するため、常に継続した支援をできると考えていないが、将来的には地域の方のみで支援なしで活動ができるような支援はできないかといったことについては契約交渉の段階で相談したいと考えています。(和泉市)

■閉会

向井会長 挨拶

以上